

AAACUシンポジウム: Towards Sustainable World: The Challenges of the Sustainable Development Goals (SDGs) for AAACU in the Next Decade

アジア農科系大学連合 (AAACU) はアジアの22大学の農学部が加盟する組織で、昨年10月13~14日に東京農業大学において、国際シンポジウムと第21回総会を開催しました。志和地東京農業大学大学院農学研究科委員長の基調講演に続き、江原農国センター教授 (JISNAS事務局長) がJISNASの取り組みを紹介し、AAACUとの連携を含めた、農学分野におけるネットワーク形成の重要性について議論しました。

総会では、新会長にTulinピサヤ国立大学長が選出され、川北名古屋大学大学院生命農学研究科長が、第2副会長に選ばれ、次々回(2020年)の大会を名古屋大学で開催することとなりました。

(山内 章)



新役員の就任式 (2016年10月14日、東京農業大学)。
(左から3番目がTulin会長、5番目が川北副会長)

第57回名大祭研究公開セミナーにおける報告

農学国際教育協力研究センター (ICCAE) は、6月5日(日)、名古屋大学IB電子情報館011講義室において、57回名大祭研究公開セミナーを兼ねた2016年度第2回オープンセミナーを開催しました。今回のセミナーでは、ICCAEの元研究員で、現在、信州大学農学部国際農学教育研究センター・副センター長を務める浜野充講師が「開発途上国の農村における課題解決を目指した実践的研究—カンボジアの米蒸留酒の品質向上—」と題する講演を行ないました。浜野講師は、国際協力の実務と課題解決を導くアクションリサーチ手法について、カンボジアの農村で伝統的に営まれている米蒸留酒造における技術改善と経営向上を事例にして、一般の来場者にも分かりやすく解説を行ないました。講演後には、国際協力やカンボジアの農業と開発に関心を持つ多数の参加者との間で活発な質疑応答が行われ、盛況なセミナーとなりました。(槇原大悟)



第2回オープンセミナーで講演する浜野講師

第5回JICA-JISNASフォーラム開催のお知らせ

農国センターが事務局を務める農学知的支援ネットワーク (JISNAS) では、2016年12月16日(金)に第5回JICA-JISNASフォーラム「持続可能な開発目標 (SDGs) の取り組み: SDGsに貢献する農業分野人材の育成に向けて」を、JICA横浜センター (セミナールーム「かもめ」) にて開催いたします。今回のフォーラムでは、ミレニアム開発目標 (MDGs) の後継として2015年9月の国連サミットにて採択された「持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals: SDGs)」を取り上げ、これに貢献する農業分野の人材育成への取り組みやその課題について議論します。詳細につきましては、JISNASホームページ等にてご案内いたします。

オープンセミナー (2016年6月~2016年11月)

回数	日時	テーマ	講師	所属
2016年度 第2回	2016年 6月5日	開発途上国の農村における課題解決を目指した実践的研究 —カンボジアの米蒸留酒の品質向上—	浜野 充	信州大学農学部国際農学教育研究センター副センター長/講師
第3回	2016年 7月12日	タンザニア・環境劣化の最前線地域における循環型資源利用モデルの構築	伊谷 樹一	京都大学アフリカ地域研究資料センター副センター長/教授
第4回	2016年 9月30日	越境する米作り —ビジネス、生態系、技術と持続可能性—	鴨下 顕彦	東京大学アジア生物資源環境研究センター准教授